

だっこだっこあみだっこ



令和元年

7・8

月号

菜園日記（さいえんにっき）

ヤサイのハテナ

東山淨苑東本願寺発！パパママ子どものフリーペーパーだっこだっこあみだっこです！
あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。

未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる子育ては、とても尊い大事な
ことです。いい子になってほしい、と思いながらも、ほんとうのやさしさ、かし
こさ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびに
なりますように。ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

かくご 今月のことば：「覚悟」—ほとけさまのおしえをよくきこう—

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

● 「覚悟」の由来は？

私たちが日ごろ使う「覚悟」とは、「覚悟しろ！（決意）」や「覚悟を決めた！（決心）」など、「もうおしまいだからあきらめる」、「これから起こる大変なことを予想してそれを受け入れる心がまえ」というような意味で使われます。

しかし、もともとは仏教の言葉で、「覚」も「悟」も「さとり」という意味を持ち、真理を（さとる）、真理に（目覚める）ことです。つまり、ほとけさまのみ教えに従って、「煩惱」など悪いものを遠ざけて、ほとけさまのように「さとりをひらく」という意味を持ちます。

● 「さとりをひらくこと」を邪魔する「煩惱」

私たちが「覚悟」をするために、まずは「煩惱」について知りましょう。

「煩惱」とは、私たちの身や心を「煩わせ」・「悩ませる」心のはたらきのことです。

私たちの心には、108種類の煩惱があると言われていますが、その代表的でいちばん深刻な煩惱を「三毒の煩惱」と言います。



【三毒の煩惱】

- ①貪欲（とんよく）：欲をもつこと
- ②瞋恚（しんに）：憎んだり怒ったりすること
- ③愚痴（ぐち）：眞実の道理に無知であること



これらの「煩惱」は何によって生まれるのでしょうか？

答えは、「執着」の心、自分の考えが正しいと考え、自分の思いどおりにしたいという心です。

「あれが食べたい」「あの人に私のことを大好きになってほしい」「あれを自分のもとにしたい」「えらくなりたい」などの欲が全て「煩惱」にあたります。

私たちは、自分がひき起こしている「煩惱」によって、自分自身が苦しんでいることに、なかなか気づけません。

みなさん思い返してみてください。「悪口を言われたと腹を立てる」「友達の持っている新しいおもちゃをうらやましいと思う」などの心を止めることは、とてもむずかし



いことですね。

これらの「煩惱」がどうしようもない苦しみの世界を作っているのです。

● 「さとり」へ近づくために

「煩惱」について学びましたが、私たちだけでは「煩惱」をなくすことも、「さとり」をひらくこともむずかしいようですね。

お釈迦さまは、こうしたいろいろな悩みや苦しみをとりのぞく道をお教えくださり、すべての「煩惱」がなくなったり、心穏やかな状態を「涅槃」=「さとり」とおっしゃいました。

「煩惱」をなくすことができない私たちでも、「ひとり残らず救おう」とおちかい下さり、願いとされたのが阿弥陀さまです。私たちはそんな阿弥陀さまをおたのみし、そのみ教え、願いをよく聞くことが大切です。



蓮如上人（本願寺文化興隆財団蔵）

室町時代の浄土真宗本願寺8世

浄土真宗開立の祖（1415～1499）

戦国時代の幕開け期、「一人でも多くの人に信心を」との一心で、自らの足で村から村へ、国から国へと布教して歩き、さびさびとしていた本願寺を、日本最大の教団へと育て上げた。

蓮如上人は、「ただ仏法は聴聞にきわまることなり」とおっしゃつて、「聴聞」の大切さをくりかえし説かれました。

「聴聞」とは、ただ「耳で聞く」という意味ではなく、「阿弥陀さまのみ教え、願いをよく聞く」ということです。

そして教えをよく聞いたら、阿弥陀さまがわたしたちひとりひとりをお救いくださっていることに気づき、もったいない、ありがたい、という報謝のきもちがおこって、信心をいただき、感謝のお念佛をとなえる身となるのです。つまり、ただお話を聞くのではなく、み教えをよく聞いて、信心をいただくことが大事なのだ、とおしめしになりました。

みなさんには、この親子仏法の集いでお参りをしたり、お坊さんのご法話を聴いたり、仏法説話を紙芝居を見たりするなど、いろいろな「聴聞」のご縁を持つことができます。

そうしたご縁から、阿弥陀さまにであわせていただいたよろこびに気づきましょう。

だっこだっこあみだっこ は、毎月東山淨苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い -仏法に親しもう 土に親しもう！- ってなに？

毎月第3日曜日(行事等で変更の場合あり)に、東山淨苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。

また、花まつりでは、毎年こども法要をおつとめしています。

なんでもありがとうございました！粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、

「いただきます」「ありがたい」の豊かなこころを育てましょう。

乳幼児から中学生までのお子さんとご家族はどなたでも参加できます。

お気軽にお尋ねください！



【活動日】 毎月第3日曜日 ・年中行事の折には変更

【場所】 東山淨苑東本願寺

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★

東山淨苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日9:00
～17:00



LINE

LINE ID : oyakobuppou

LINEで参加申込が出来ます！興味のある方はお問い合わせ下さい。

ー 参加者募集中！今後の親子仏法の集いご案内 ー

当日参加
大歓迎！

8月15日(木)

15:30～16:30 ※受付15時～

【8月の言葉と目標】

ふせ
布施

—「だれか」のために「わたし」にできること—

【活動内容】 子ども盆灯会

【場 所】 東山淨苑内 常楽堂

【参加費】 中学生以下の子さま
1人につき100円

9月15日(日)

10:00～12:00

【9月の言葉と目標】

むじょう
無常

—「ずっとおなじ」ものはない—

【活動内容】 にら・ゴーヤー収穫、
カリフラワー植えつけ、大根種まき

【場 所】 東山淨苑内 あみだっこ菜園 等

【参加費】 1家族1回 1,000円 【初参加無料】

※参加ご希望の方
は事前に
お電話で
お申し込み下さい

※活動内容は、天候や作物の成長状態などによって、予告なく変更になる場合があります。 あらかじめご了承ください。
※雨天の場合は、写経体験や掛軸づくりなどの室内企画を行います！お楽しみに♪



親子仏法インスタグラム始めました！ アカウント名:amidakko

菜園や活動のようすを週2回程度アップします。

フォローして画面を提示するだけで参加費1割引♪(1家族1回のみ利用可)

だっこだっこあみだっこ 令和元年7・8月号

令和元年7月10日発行 発行・印刷/東山淨苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上花山旭山町8-1 電話 075-541-8391 無料